


令和7年度 第4回

# 札幌市救急医療体制検討部会

日時 令和8年3月12日(木)18時30分～  
会場 ORE札幌ビル 8階 大会議室

# 本日の内容

1. 令和8年4月からの初期救急医療体制について(報告)
2. 2次救急医療体制について(意見交換)
3. 次年度の開催予定について



# 1 令和8年4月からの初期救急医療体制 について(報告)

# 小児科初期救急医療体制について

- 令和8年4月から夜間休日急病センターにて、小児休日診療を開始

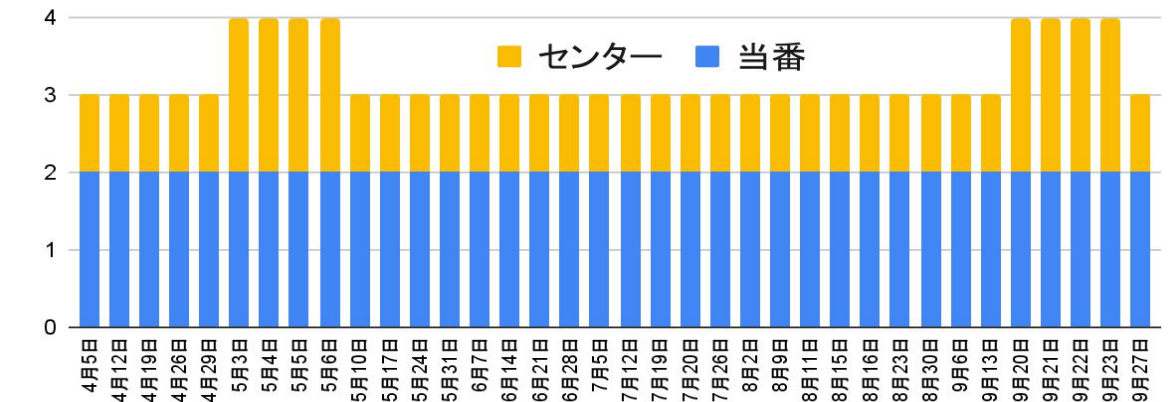
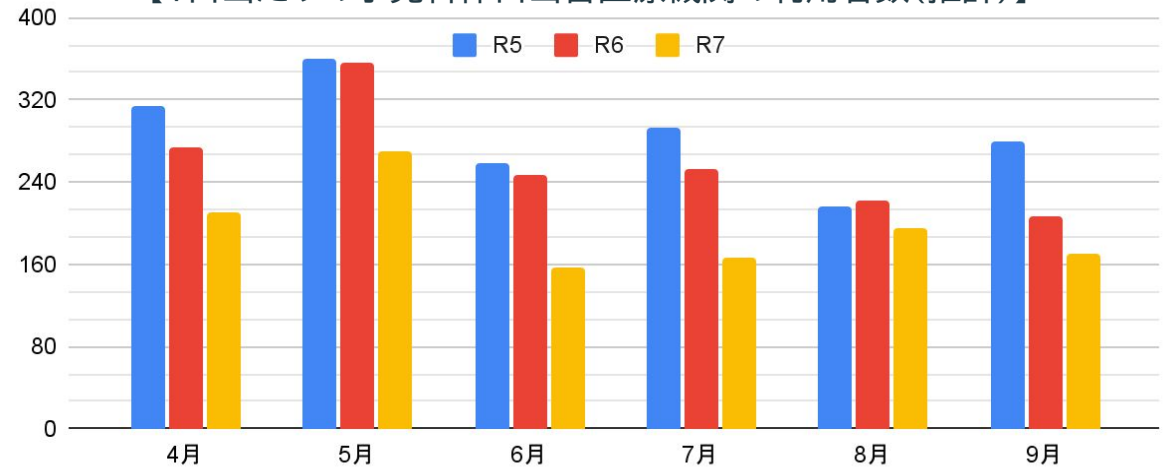
項目	内容
診療時間	9時～17時
診療内容	小児科の初期救急診療対応 ・迅速検査:COVID19/Flu、溶連菌、アデノ ・一般検査:血液検査、尿検査 ・X線検査:実施しない ・処置:点滴、浣腸、吸入など必要な処置は実施 ・処方:院外処方(数日分が目安。連休・年末年始を除く) ・二次搬送:原則、その日の二次当番病院へ搬送
患者受付方法	予約制(4月スタート時は、1診療体制:定員50名を予定)
診療体制 (予定)	1診療体制:医師1名、看護師5名、検査技師1名、事務5名 2診療体制:医師2名、看護師7名、検査技師1名、事務5名 ※1診療体制でスタートし、状況を見て2診療体制へ移行する予定

### ● 令和8年度 上半期 の小児休日救急医療体制(予定)

月ごとの平均患者数を考慮し、柔軟な体制を整備していく。

日付等		令和8年度体制案	
		当番	センター
4月	日・祝	2施設	1診療
GW	5/3~5/6(4日間)	2施設	2診療
5月~9月	日・祝	2施設	1診療
お盆	8/15・8/16	2施設	1診療
SW	9/20~9/23(4日間)	2施設	2診療

【1日当たりの小児科休日当番医療機関の利用者数(推計)】



# 外科系救急医療体制について

【令和6年12月5日 救急医療体制検討部会にて】

現在の当番制の維持が困難となっていることから、札幌市救急医療体制検討委員会の「札幌市の救急医療体制の見直しに関する意見のとりまとめ」（令和5年3月23日）を踏まえ、見直す体制の方向性について審議する。

1. 初期救急当番の診療時間帯について
2. 準当番医療機関の追加について
3. 拠点化について

札幌市の救急医療体制の見直しに関する意見のとりまとめ（令和 5年3月23日 札幌市救急医療体制検討委員会）

- (1) 「救急告示医療機関制度」の名称を変更し、「外科系初期救急当番制度」とすることを求める。あわせて、救急病院等を定める省令に基づく救急病院及び救急診療所以外の医療機関についても当番制に参画可とすることを求める。
- (2) 外科系初期救急当番の診療時間帯について、運用実態にあわせ、二次救急当番と同様の時間帯とするよう求める。なお、通常診療の時間帯については救急告示医療機関全体で初期救急患者等の診療に対応することとする。
- (3) 現行の当番医療機関に加え、診療時間を翌朝9時ではなく、午後10時までとする「準当番医療機関」の区分を新たに追加することを求める。
- (4) 当番制による診療体制の維持が困難となっており、今後さらに厳しくなると見込まれることから、拠点的な施設等における診療体制への移行（拠点化）について、具体的な検討を進めることを求める。

# 外科系

## ● 外科系救急医療体制について

現行体制

対応：二次・初期に関わらず、救急搬送及びウォークイン患者に対応

二次救急(けが・災害)  
(1施設)



救急搬送

外科系初期救急当番  
(3~5施設)  
【条件】救急告示医療機関



ウォークイン患者

救急時間帯

(平日17時/土曜13時/休日9時 ~ 翌9時)

終了  
翌9時

24時間対応  
(9時 ~ 翌9時)

新体制

R8.4~

対応：当番は、救急搬送及びウォークイン患者に対応  
準当番は、ウォークイン患者に対応(救急搬送への対応は任意)  
二次医療機関は、救急搬送に対応

二次救急(けが・災害)  
(1施設)



救急搬送

外科系初期救急 **当番** (1~2施設)  
【条件】救急告示医療機関・  
それに準じる医療機関



ウォークイン患者

救急搬送



救急時間帯

(平日17時/土曜13時/休日9時 ~ 翌9時)

終了  
22時

終了  
翌9時

救急時間帯

(平日17時/土曜13時/休日9時 ~ 翌9時)

外科系初期救急 **準当番**  
(1~3施設)

【条件】外科・整形外科を標榜する医療機関



ウォークイン患者

救急時間帯(終了時間が22時)  
(平日17時/土曜13時/休日9時 ~ 22時)

Point3

▶ 対応時間を短縮

Point1

▶ 参画医療機関の条件緩和

Point2

▶ 準当番制度を導入

### ● 令和8年度 上半期 の状況(予定)

#### 【二次救急医療機関(けが・災害)】

- ・参画医療機関: 1施設増
- ・初期対応を兼ねた実施を希望する医療機関: 16施設

#### 【外科系初期救急医療機関】

- ・参画医療機関: 1施設減
- ・1日の体制: 当番1~2施設、準当番0~2施設
- ➡年度初めに診療所等へ新規参入の呼びかけを実施

上半期	R7年度	R8年度	差
参画施設数	18	19	1
平均回数	9.72	9.42	-0.30
初期兼割合	93.71%	85.64%	-8.08%

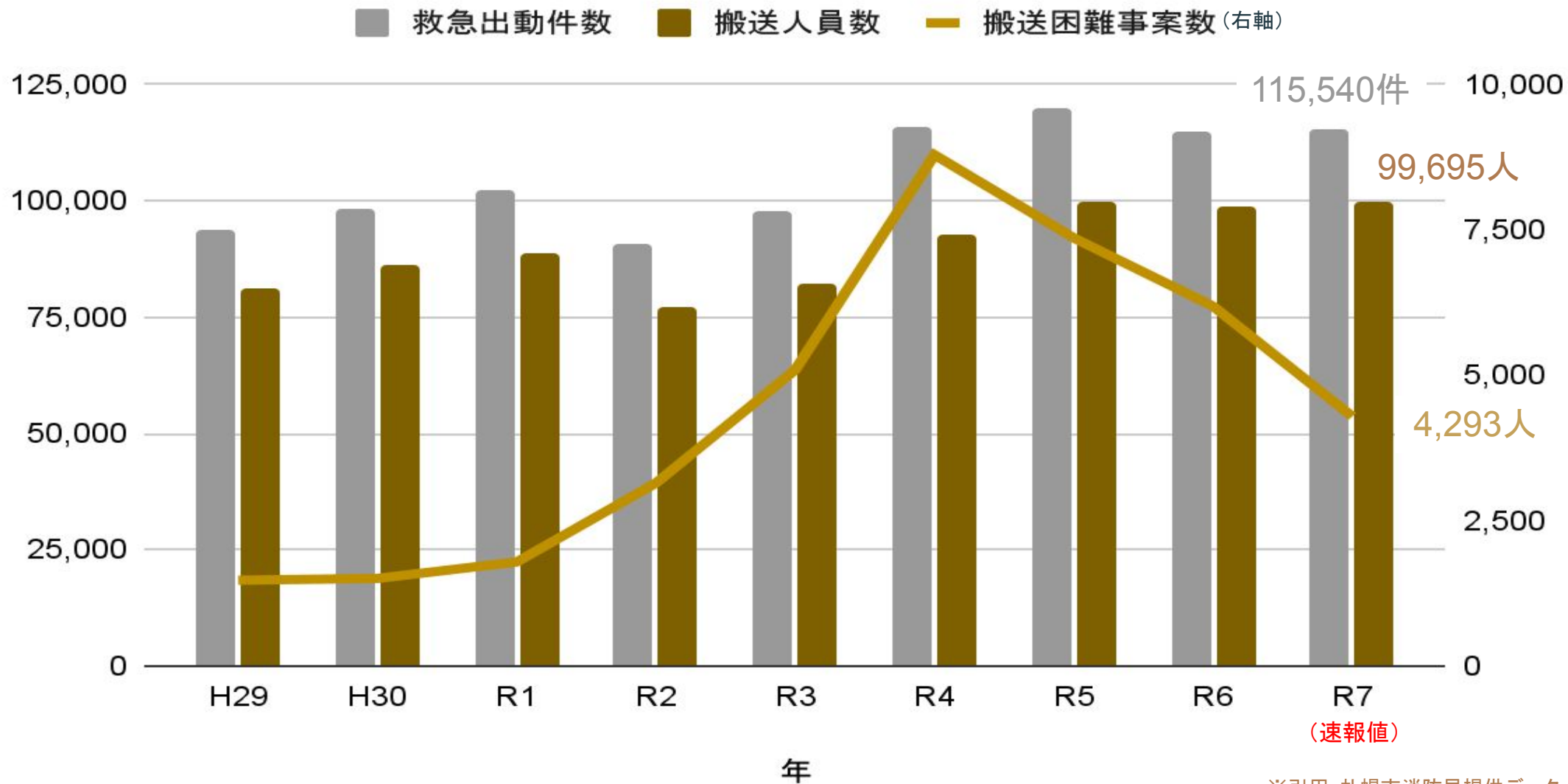
上半期	R7年度	R8年度
参画施設数	49	48
当番	49	37
準当番	-	7
当番・準当番	-	4



## 2 2次救急医療体制について(意見交換)

## 2次救急

### ● 救急出動件数・搬送人員数・搬送困難事案数



※引用: 札幌市消防局提供データ

# 2次救急

## 札幌市の救急医療体制

1次(初期)救急医療機関  
(夜間急病センターなど)

令和6年2月から運用開始

救急搬送支援・情報収集・統計分析システム

2次当番病院や拠点病院の受入可否を「見える化」し、救急搬送時間を短縮

軽症者



救急患者

重症者  
(3次相当)

中等症以上(要入院・手術相当)

課題② 拠点病院(2次)の課題

- ・高齢者の増加により、複数診療科の介入が必要など2次当番での対応が困難な患者が増加
- ・さらに、課題①により流れてきた患者の受入により、2次が受けきれない患者が3次救急を圧迫

3次救急医療機関  
(救命救急センターなど)

重篤な症状の患者を受け入れるため、**24時間365日体制**で救急患者を受入

対応策①～③により3次医療機関への負荷を軽減

2次当番病院

及び 専門当番病院

特定の診療科(単科)の救急患者を受入

循環器・呼吸器系	循環器系(ACS)	消化器系	泌尿器系	小児系	脳神経外科系	けが災害外科系
1～2施設	1グループ(3施設)	1施設	1施設	1施設	1グループ(5施設)	1施設

対応策① 2次当番病院の受入体制強化

出来高制の導入により2次当番の体制を強化し、受入可能な患者に確実に対応

課題① 二次当番病院の課題

救急患者の増加により、2次当番が本来、受けるべき患者を受けきれず、拠点病院を圧迫

拠点病院(2次)

原則24時間365日体制で、**診療科を問わず**救急患者を受入

準拠点病院(2次)

特定の曜日や時間帯等において**診療科を問わず**救急患者を受入

対応策② 拠点病院・準拠点病院

補助制度を新設し、拠点病院の受入体制を強化。搬送困難な患者の受入にはインセンティブを付与

転院

令和6年4月から運用開始

転院調整支援システム

後方支援病院の空床情報を「見える化」し、2次当番病院や拠点病院から後方支援病院へのスムーズな転院を支援

対応策③ 後方支援体制

救急状態を脱した患者の転院の受入を円滑化し、2次のベッドに余裕を持たせる。

転院

後方支援病院等

急性期の治療後も入院の長期化が見込まれる**救急患者の転院を受入**

# 2次救急

## ● 搬送先医療機関区分

救急時間帯(平日17-翌9、土13-翌9、休日9-翌9)の当番種別搬送件数

		令和4年度			令和5年度			令和6年度		
三次救急医療機関		2,004	3.31%	3.31%	1,992	3.04%	3.04%	1,834	2.92%	2.92%
二次救急	循環器・呼吸器系	2,320	3.83%	33.81%	2,988	4.56%	36.80%	3,364	5.35%	38.59%
	消化器系	2,775	4.58%		3,270	4.99%		3,519	5.60%	
	泌尿器系	809	1.34%		878	1.34%		822	1.31%	
	小児系	2,326	3.84%		2,386	3.64%		1,894	3.01%	
	けが・災害の外科系	1,952	3.22%		2,142	3.27%		2,136	3.40%	
	産婦人科系	99	0.16%		109	0.17%		124	0.20%	
	脳神経外科系	8,853	14.61%		10,752	16.41%		10,827	17.23%	
	ACS系	1,350	2.23%		1,584	2.42%		1,558	2.48%	
	当番日以外	拠点病院以外	17,531	28.94%	47.63%	15,988	24.40%	44.10%	14,555	23.17%
拠点病院(5医療機関)		11,325	18.69%	12,905		19.70%	12,656		20.15%	
初期救急	夜間急病センター	4,030	6.65%	15.26%	4,652	7.10%	16.06%	3,932	6.26%	15.17%
	初期休日救急当番	809	1.34%		986	1.51%		795	1.27%	
	外科系初期救急医療機関	4,114	6.79%		4,514	6.89%		4,472	7.12%	
	初期土曜午後救急当番	144	0.24%		203	0.31%		188	0.30%	
	精神科当番	146	0.24%		164	0.25%		146	0.23%	

※札幌市消防局提供データより分析

#### 令和8年4月からの二次救急体制

##### 【拠点病院】

- これまで市立札幌病院は準拠点病院として対応してきたが、令和7年12月より拠点病院と同等の受入れ体制を整備・運用を開始
- 令和8年4月からは、既存の5病院（勤医協中央病院、札幌徳洲会病院、札幌東徳洲会病院、手稲溪仁会病院、北海道医療センター）に市立札幌病院を加え、6病院体制に

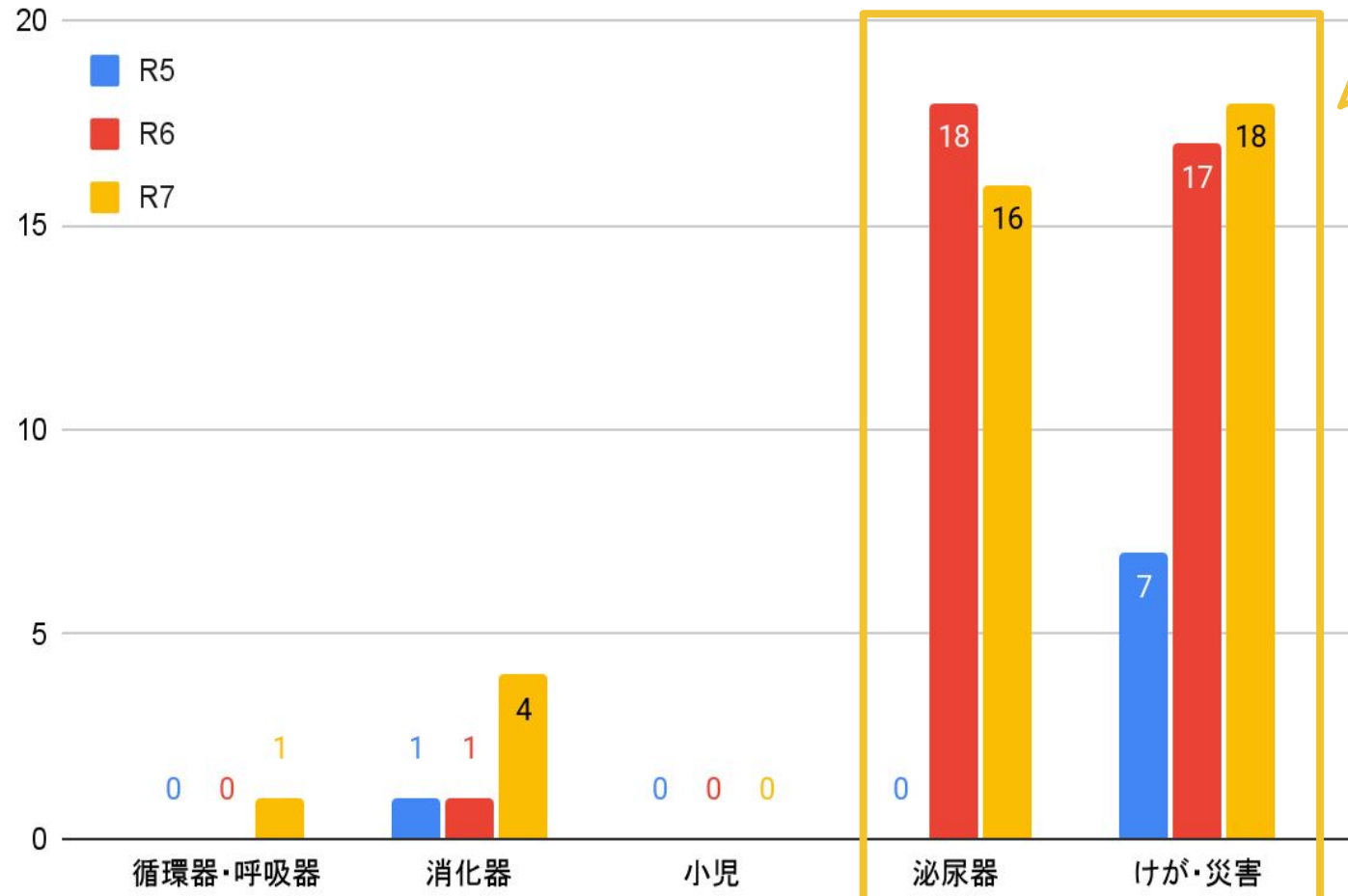
##### 【準拠点病院】

- 市立札幌病院が拠点病院へ移行することに伴い、準拠点病院として参画する医療機関は0施設に

# 2次救急

## 札幌市の救急医療体制

2次当番病院を設置できなかった日数(直近3年)



令和6年度以降「泌尿器」「けが・災害」の当番病院の確保が難しくなっている

### ▶泌尿器系

当番病院	日数 (R6)	搬送対象患者数(R6)※	
		総数	1日当たり
あり	347	1,287人	3.7人
なし	18	45人	2.5人

### ▶けが・災害系(外科、整形外科、形成外科)

当番病院	日数 (R6)	搬送対象患者数(R6)※	
		総数	1日当たり
あり	348	8,434人	24.2人
なし	17	692人	40.7人

※救急隊が選定した診療科



### 3 次年度の開催予定について

● 令和8年度の部会開催スケジュール案

❖ 開催時期

- 第1回(6月ごろ)
- 第2回(9月ごろ)
- 第3回(2月ごろ)

❖ 審議事項

- 救急医療の課題
  - 2次救急医療体制について
  - 初期救急医療体制の検証
- 救急医療に係るシステム等
  - SIRIUSデータの検証
  - 転院調整支援システムの活用